11月30日（月曜日）「パウロ（2）選び」

【新改訳 2017】

使徒　9•10-20

「しかし、主はこう言われた。『行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です』」（15 節）

パウロの回心の記事の続きです。

主は、ダマスコのアナニヤという弟子を選んで彼のもとに遣わし、彼のために祈るように言われましたが、アナニヤがサウロの名を聞いて困惑した時、冒頭のように語られたのです。主はそのように残忍な迫害者を選び、救い、造り変えて異邦人のための使徒にしようとされたのです。驚くべきことです。主のご主権とあわれみは、なんと大きいことでしょう（Ⅰテモテ 1•12-16 参照）

アナニヤが行って祈ると、サウロの目は見えるようになり、バプテスマを受けました。そして聖霊に満たされ、力を増し、イエスがキリストであることを証明しました。その後、彼は異邦人への使徒として用いられたのです。主は、迫害者をこのように

福音の大使徒に変えられました。私たちも変えることがおできになるのです。

～祈り～

主よ。あなたは、サウロを救われただけではなく、御国の重大なわざのために、選びの器として大いに用いられました。彼のように、生まれ変われる人々を多く起こしてください。

【学びのために】

神の選びについて:ローマ 9•14-15、出エジプト 33•19 参照。まったく神の一方的な恵みと主権によっていることがわかります。